

Daisy

私について

- マイ・リン (Mai-Linn) (15 才)
- 中学生
- 秋から高校に行く
- ディスレクシアがある
- 幼稚園では
- 小学校では
- 小学校のころ、すべては暗く、難しかった
- 2年生から卒業まで(second to last year)は、担当の先生がついて、読み書きを教えてもらった

デイジー

- デイジーを使う前は、父や母が読んでくれていた
- 10才くらいのときに、デイジーを手にした
- 宿題をするのに、デイジーを使った。でもそのことはあまり良く覚えていない
- 中学にあがり、新しい可能性が開き、周りの人は、私に期待をかけた
- デイジーを手にしたが、不法コピーだった
- それは、きちんと再生できなかった

デイジー

- 次の年も、不法コピーしか手に入れることができなかった
- そこで、両親は、きちんとしたデイジーが手に入るように、行動をはじめた
- 私は自尊心を失っていたし、デイジーは使いたくなかった
- 最後には、強制的にデイジーを使わされた。時がたち、気づいたら、自分からデイジーを使いたいと思うようになっていた

教科による違い

- 社会科の勉強にデイジーは大変役立つ
- 先生は、「読む」宿題をたくさん出すから(一章は15ページもある)
- 今はデイジーがあるから、もっとリラックスできるし、友達と過ごす時間を増やせる
- 数学では、デイジーはあまり活用できないと思う
- 聞くだけではよくわからないことが多い
- 印刷された図書が目の前にあって見られると良い
- 知らない言葉が出てくることがあるが、デイジーはそれらを助けてくれない

今後

- もうすぐ高校に行く
- 前はデイジーを使いたくなかったけど、今は使いたい
- やみつきになっているといってもいいくらい
- デイジーがなければ、すべての教科で今のような成績はとれなかった
- 今は、大学でデイジーを手に入れることができるかどうか心配

自信

- パソコン、補習、デイジーなどの必要なものが手に入らなければ、自信は簡単に失われてしまう
- 私には、ディスレクシアがあることも含めて私のことを尊重(リスペクト)してくれる良い友達がいる
- スポーツをしていたことも、自信を取り戻すのに役立った

デイジーがあったので、私は自信を取り戻し、自分が満足できる成績をとることができました。